

鎌ヶ谷市 市民活動推進センター だより



鎌ヶ谷市「小さな親切」運動の会

写真説明

鎌ヶ谷市「小さな親切」運動の会は、人と人との心のふれあいを深め、心温まる地域社会の醸成に努め、鎌ヶ谷市のまちづくりに貢献することを目的としているボランティア団体です。

東日本大震災は、耐え難い悲しみや甚大な物的被害をもたらしましたが、それを支えるために、日本はもとより、世界中から大きな援助の手が差し伸べられました。

今さら、「小さな親切」でもなかるうという声もありますが、人を支え合う行動の源となるのが、「小さな親切」の精神ではないかと思います。鎌ヶ谷市では、市内の全小中学校が「小さな親切」運動の学校会員となり、子ども達の親切の芽を育てています。一般会員、賛助会員、団体会員を含めて、「小さな親切」に関わる様々な活動をしていいますが、その取り組みの中心になるのが、小中学校「作文コンクール」の実施、実行章（バッジ）の伝達、「花いっぱい運動」です。

「小さな親切」実行章の伝達式・作文コンクールの表彰式を、一月下旬に行っています。

目次

| | |
|-------------------------------|-----|
| 「小さな親切」運動の会 (写真紹介) | p 1 |
| 鎌ヶ谷生涯学習推進連絡会 (団体紹介) | p 2 |
| 鎌ヶ谷市子ども会育成会連絡協議会 武波 憲子 (人物紹介) | p 3 |
| 地域のくらしを支える生活支援のサービス (DVD紹介) | p 3 |
| 助成金情報 (お知らせ) | p 4 |
| 有償ボランティアもあるのですか? (Q&A) | p 4 |

鎌ヶ谷生涯学習推進連絡会

《代表者》 酒井 正
 《所在地》 〒273-0123 鎌ヶ谷市南初富 4-14-52
 《連絡先》 TEL/FAX 047-443-5401



東葛地域市民活動
 フェスタにおける
 パネル展示の様子

【活動の目的は？】

生涯学習の基本理念に沿って市民ベースで取り組み、活動を広域的な組織をもって生涯学習事業を、自主・独立で企画・運営し、総合企画活動を展開するとともに、行政との協働事業への参画推進を基本路線におき、生涯学習に関する市民意識の向上に寄与し、住みよい明るいまちづくりに貢献することです。

【活動テーマ】

会の目的を達成するため、次に規定する事業と活動を行うこととしています。

1. 生涯学習に関する研修ならびに各種団体との連絡調整と情報交換
2. 生涯学習の設定、講師の選定、調査、広報等の活動
3. その他、市民対応の各種講座、イベント等の企画・運営

【活動内容】

今までの活動実績は次の通りです。

1. まなびいふれあいフェスタでのパネルディスカッション、公民館への事業参加
2. セカンドライブ市民活動見本市、東葛地域市民活動フェスタ参加
3. 生涯学習に関する市民相談窓口の対応、県民NPO講座in鎌ヶ谷への参加
4. 「かまがや市民ステージ」として、アクロス・モール新鎌ヶ谷にて、毎月鎌ヶ谷市内のサークル団体への出演依頼

| No | 開催日 | 出演団体名 | イベント内容 |
|----|-------|---------------|------------|
| 1 | 5.14 | エコネットかまがや | エコ紙とんぼ作り体験 |
| 2 | 6.18 | 鼓調連 | 民族芸能 |
| 3 | 7.03 | 鎌ヶ谷少年少女合唱団 | ミニコンサート |
| 4 | 8.20 | ひまわりお話会 | 大きな紙芝居 |
| 5 | 9.10 | 寿美峰会 | 民謡と舞踏ショー |
| 6 | 10.08 | 鎌ヶ谷レクリエーション協会 | 昔遊び |
| 7 | 11.19 | 鎌ヶ谷市子供会 | こども太鼓 |
| 8 | 12.14 | 青い鳥 | 童謡唱歌 |
| 9 | 1.14 | 楽踊会 鼓調連 | 新春獅子舞と和太鼓 |
| 10 | 2.11 | おても座 | 舞踊と獅子舞 |
| 11 | 3.10 | ウクレレフレンズ | ウクレレ演奏 |

【活動に至った経緯は？】

- 生涯学習推進センターが育成したまなびいネットワーク(公民館における生涯学習の企画・運営をサポートする人)の活動機会の創出や、学習したことを地域にいかすことができるようにする役割を担い、市民と行政のパイプ役になりたいという思いから、各公民館で活動している2~3名のネットワークが集まって連絡会を立ち上げました。



【組織の概要】

1. 役員構成
 会長1名、副会長1名、会計1名、理事12名、会計監査1名
 メンバーはいずれも鎌ヶ谷市内のいろいろな団体代表の方に就任していただいております。
2. 会議
 * 定例会は毎月1回開催し、情報交換・情報収集・企画検討等を行っています。
 * 総会は毎年4月に開催予定です。

【問題点、課題は？】



仲間や協働できる団体を増やすことです。

【アピールポイントは？】



鎌ヶ谷市内の多くのサークルや団体に、活動の発表する場を提供していることです。



【今後の方向性、展開】

- 現在はアクロス・モールで行っている「かまがや市民ステージ」が中心になっておりますが、これからは、講演会や講習会の開催なども数多く開催したいと思います。また、一緒に参加してもらえる囲碁・太鼓・音楽・スポーツ等の団体との連携も深めたいと思います。

地域で活動する人物紹介

鎌ケ谷市子ども会育成会連絡協議会

◆ 活動経歴 ◆



会長 武波 憲子 氏

◆ 活動を始めた動機 ◆

友人に誘われて、アツアツ・バーバンの忍者遊びを習志野市で初体験。子どもと大人がイキイキと遊び合うこの活動に響関（共感）し、鎌ケ谷の子ども達にも是非体験させてあげたいという想いで始めました。子ども会には資金が無いので、「子どもゆめ基金」の助成金に手探り状態で申請書類を提出し、承認を得て、実現することが出来ました。

◆ 今後の「夢」 ◆

人同士が関わり合う事は実際には大変ですが面白くて、生きていく上でとっても大切な事です。ネット社会で生きている現代の子ども達にその事を、「遊び」を通して体感してもらいたく、又、大人にも改めて感じてもらいたいと思っています。市内各地で実施し、地域の子どもは地域で守り、育てていきたいです。

- 2002年 長女が小5の時にほたる子ども会に入会
- 2004年 ほたる子ども会会長に就任
- 2008年 鎌ケ谷市子育連育成部に参加
- 2009年 子どもゆめ基金の助成金を受けて、NPO法人アツアツ・バーバンを講師に「忍者になって遊ぼう！」を実施
- 2010年 「忍者になって遊ぼうよ！2010」を実施（子どもゆめ基金助成活動）
- 2011年 「探偵&忍者になって遊ぼうよ！」実施（全労災地域貢献女性事業）鎌ケ谷市子育連 会長に就任
- 2012年 「まちを遊ぼうよ！」実施（子どもゆめ基金助成活動）

◆ 現在活動している内容 ◆

鎌ケ谷市子ども会育成会連絡協議会では、市内の子ども会の連絡調整を図りながら子ども会の発展を目指しています。ほたる子ども会では、NPO法人アツアツ・バーバンのメンバーを講師としてお招きし、市内各所で「忍者&探偵になって遊ぼう」を実施しています。

◆ これから始める人へひと言 ◆

夢の実現の為に資金が必要でした。人に勧められて「子どもゆめ基金」への申請を始めました。夢への想いがあれば多少の面倒も乗り切れます。考えるより実行あるのみです！

◆ 「夢」実現への課題 ◆

この活動に賛同してくれる大人の仲間作りと、市内各小学校・地域の協力が必要です。

図書の紹介

地域のくらしを支える
生活支援サービス
DVD

企画・制作：社会福祉法人
全国社会福祉協議会
制作協力：クロスメディア



【市民活動推進センターでは図書・DVDの貸出をしています。ご希望の方は窓口までお申し出ください】

このDVDは、(株)クロスメディアの制作協力のもと、社会福祉法人全国社会福祉協議会が企画・制作したものです。1面・2面で15の団体の活動が紹介されております。

これから新たに市民活動を始めようとしている方、また活動規模をさらに拡大しようとしている団体、加えて、同業種・異業種の団体間の交流にも役立てていただければ幸いです。

【DISC 1】

- 1.気軽に立ち寄れる子育てひろば
～コープの子育て支援～
- 2.同世代での助け合い運動
～在宅福祉を支える友愛活動～
- 3.その人らしい生活を支える場
～「宅老所井戸端げんき」の取り組み
- 4.食事を通じた地域のつながり
～配食・会食活動～
- 5.地域の交流をつくる会食会
～ボランティアによるふれあい型食事サービス～
- 6.地域交流と情報発信の拠点づくり
～商店街での活動づくり～
- 7.伝統を活かしたまちづくり
～障がい者とつむぐ賑わいの創出～

【DISC 2】

- 1.困ったときはお互いさま
～ふれあい助け合い活動～
- 2.おたがいさまの気持ちで
～くらしの支援活動～
- 3.気軽に取り組むボランティア
～生協の“ちょいボラ”～
- 4.近くに住むもうひとりの家族
～住民参加型在宅福祉サービス～
- 5.つなぎ・寄り添う・思いやり
～ふれあいの居場所づくり～
- 6.誰もが元気に暮らせるまちづくり
～住民による交流の場づくり～
- 7.地域のつながりを育む拠点
～見守り支援につなぐサロン活動～
- 8.ご近所のお茶の間
～ふれあい・いきいきサロン～



お知らせ

助成金情報

詳しくは下記URLからホームページをご覧ください。

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

<みずほ教育福祉財団 助成のご案内>

第29回「老後を豊かにするボランティア活動資金」応募要領

★目的

この助成金は、地域に根ざした高齢者のためのボランティア活動を奨励するために助成するものです。

★対象となるグループ

①ボランティア数 10~50 人程度②結成以来の活動実績 2 年以上

★対象となる具体的な使途

ボランティア活動に直接使用する用具・機器類の購入に限定

★助成対象外となるもの

①本助成を過去 3 年以内(平成 21 年度以降)に受けたことのあるグループ②老人クラブ③社団法人、財団法人、社会福祉法人、NPO法人等の法人格を有する団体

★助成金額

1グループにつき10万円を限度と、申請内容を検討したうえ、決定。全国から140グループ程度を予定。

★応募方法及び申込み期限

所定の申請書を都道府県・指定都市社会福祉協議会又は、市区町村社会福祉協議会の推薦を得て当財団に直接送付。(期限:平成24年5月31日(木))

★応募要領

ホームページよりダウンロードできます。

★お問い合わせ

(財)みずほ教育福祉財団
福祉事業部長 羽鳥光秋(はとりみつあき)
TEL:03-3596-4532 FAX:03-3596-3574
E-Mail:FJP36105@nifty.com

Q&A 「有償ボランティア」もあるのですか？

Q. 有償ボランティアもあるのですか？

<「知っていますか？ボランティアと人権一問一答」より>

A. 「ボランティア」(VOLUNTEER)という言葉は、「志す」「意思」という意味の「WILL」と、人をあらかず助詞の「ER」を組み合わせてできた言葉です。つまり、この言葉の核にあるのは、「自発性」であり、もともとは「無償」という意味は入っていません。

しかし、その後「ボランティア」という言葉がおもに福祉分野で使われるようになると、事実上、無償の活動をさすことになりました。当時の社会福祉活動は大部分が救貧事業であり、活動対象が低所得者だったからです。このため、サービスの見返りを期待しない無償活動が当然でした。この言葉が日本に持ち込まれたのは、大正期以降の事情も同じで、ボランティア活動は無償の活動として普及しました。

ところが 1980 年代頃から新しいスタイルの活動が登場してきました。交通費などの実費に加えて、低額の謝礼も受け取る、いわゆる「有償ボランティア」と名乗る活動です。この背景には、たとえば在宅高齢者への生活支援などの場合、所得の多少に関係なく要介護状態になる場合があり、必ずしも低所得者ではない人を援助するケースも増えてきたことがあります。そこには年金制度の一定の成熟もありますが、無償の援助に「恩恵的」なイメージを感じ、それよりも多少とも見返りを払って援助を受けた方が気楽だという依頼者の変化も関係します。

こうした事情から、市民による自主的な社会活動のなかに、有償でサービス提供を行うものが生まれてきたのです。自分のサービス提供時間を点数化し、その点数分、将来、自分や家族の介助を受けられるという一種の互助システムである「時間預託」制や、助け合いの連鎖をつくる「地域通貨」なども、この変形といえます。

無償のボランティアグループも有償の社会活動団体も、利益を得るための活動ではない(Not-for-Profit)点で共通の性格をもつ存在です。つまり両者はともに同じ NPO なのです。「NPO」という、より大きな概念を得ることにより、両者は同じ範疇のなかでの活動スタイルの違いと考えられるようになりました。なお、両者をともに包み込む概念としては、「市民活動」という言葉も、最近、より使われるようになりました。

編集後記

市民活動推進センターでは、このセンターだよりの発行の他、「ミニ交流サロン」を年に四回程度開催いたしております。ミニ交流サロンは、地域で活躍している方にゲストスピーカーとして、話題提供をして頂き、その後参加者全員で意見交換などを行う形式で、サロンを実施しております。最近では学校支援地域本部のコーディネーターの方や保育園児とものづくりをしている方などにお越しいただいております。このサロンで人脈の拡大等に役立てばと考えております。

これからも地域で活躍されている方々に、是非お越し頂きたいと考えております。

(市民公益活動相談員 須貝)

発行者・所在地 鎌ヶ谷市市民活動推進センター鎌ヶ谷市富岡 2-6-1 生涯学習推進センター(まなびいプラザ)1階
TEL/FAX 047-401-0891/047-401-0892 URL/e-mail <http://www.collabo-kamagaya.jp/> sikatu@city.kamagaya.chiba.jp

市民公益活動とは…営利を目的とせず、不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とし、自発的かつ継続的に行われる活動